

1 1. 2021 年度の事故・障害などの発生状況

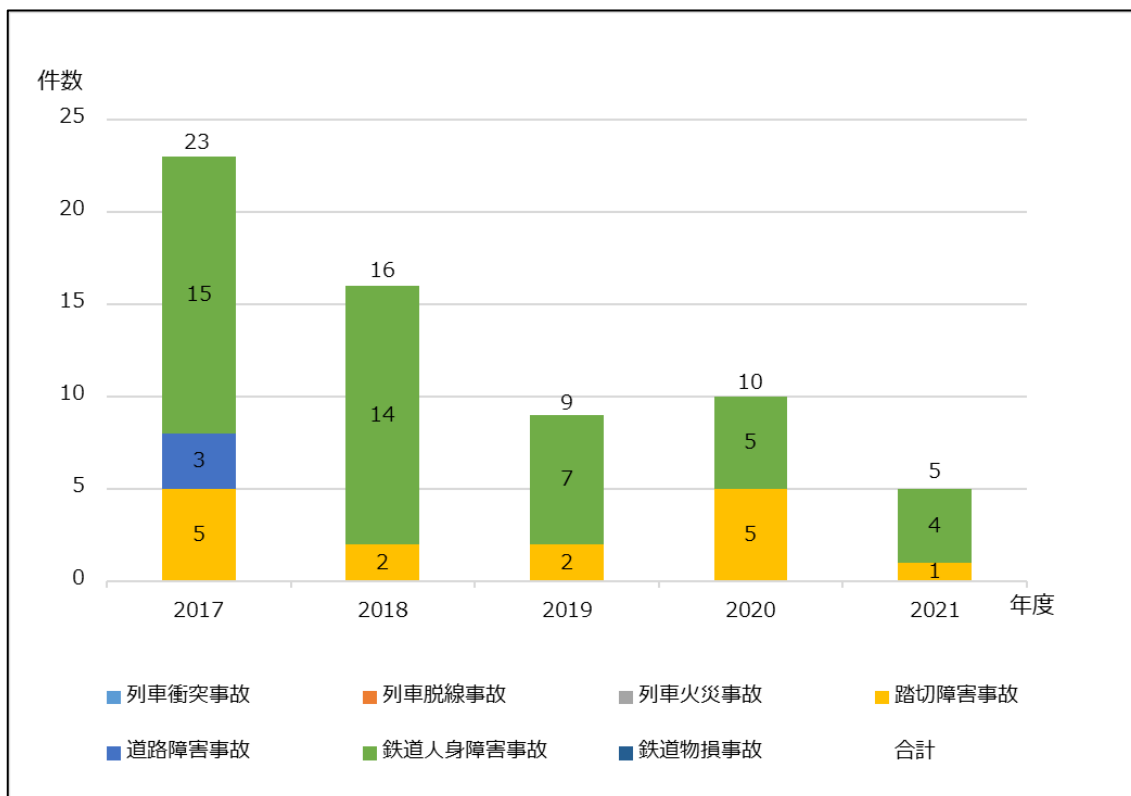
▶鉄軌道運転事故

鉄軌道運転事故とは、以下の通り分類された事故です。2021 年度は、踏切障害事故が 1 件、鉄道人身障害事故が 4 件発生しました。その他の鉄軌道運転事故は発生していません。

◆鉄軌道運転事故の分類

種 類	内 容
列車衝突事故	列車が他の列車または車両と衝突し、または接触した事故をいう
列車脱線事故	列車が脱線した事故をいう
列車火災事故	列車に火災が生じた事故をいう
踏切障害事故	踏切道において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故をいう
道路障害事故	踏切道以外の道路において、列車または車両が道路を通行する人または車両などと衝突し、または接触した事故をいう
鉄道人身障害事故	列車または車両の運転により人の死傷を生じた事故（上記の事故に伴うものを除く）をいう
鉄道物損事故	列車または車両の運転により 500 万円以上の物損を生じた事故（上記の事故に伴うものを除く）をいう

◆鉄軌道運転事故件数の推移（件）



▶輸送障害

輸送障害とは、鉄軌道運転事故以外のもので、列車の運転休止または30分以上の遅延が生じたものをいいます。2021年度は、37件発生しました。



■ 社内原因(設備の故障等) ■ 社外原因(第三者等による) ■ 自然災害

▶インシデント・電気事故

インシデントとは、事故には至りませんでした。事故につながる可能性のあった事態をいいます。電気事故とは、感電死傷事故、電気火災事故、感電外死傷事故、供給支障事故のことをいいます。

監督官庁に届け出ることや社内で周知を図ることにより、措置を確実に講じ事故の再発防止に努めています。

2021年度は、インシデントおよび電気事故は発生していません。

12. 安全投資

2021年度は、鉄道設備投資（実績額）40億円のうち35億円を安全関連設備に投資し、新型車両13000系の導入、6000系車両のリニューアル、ホームドアの新設などを実施しました。

2022年度は、運転保安度の維持・向上やお客さまのサービス向上などを目的として、総額約63億円の鉄道設備投資を行います。そのうち、約45億円を安全関連設備に投資し、昨年度に引続き、6000系車両のリニューアル、変電所更新、耐震補強などを実施する予定です。

2021年度の主な実績	2022年度の主な計画
<ul style="list-style-type: none">・新造車両（13000系）の導入・6000系車両のリニューアル・列車・保守無線基地局更新・整流設備更新・駆動装置回転試験装置更新・ホームドアの新設	<ul style="list-style-type: none">・寝屋川車庫変電所更新・連動装置更新・6000, 7000系車両のリニューアル・耐震補強